

平成 29 年 6 月 26 日

各 位

株式会社北洋銀行

平成 29 年度「北洋銀行スポーツ応援事業」の助成先を決定しました

北洋銀行は、北海道との包括連携協定の一環として、「子ども」並びに「障がい児者」に重点を置き、道内のスポーツの発展と地域におけるスポーツの推進を目的とした「スポーツ応援事業」の助成先を決定しました。

「子ども」のスポーツでは、公益財団法人北海道体育協会との連携・協力のもと、小学生を対象に道内各地で実施される「スポーツ体験教室(チャレンジクラブ地域版)」に対し、総額 100 万円の支援を行います。

「障がい児者」のスポーツでは、公益財団法人北海道障がい者スポーツ協会との連携・協力のもと、一般公募より選考した障がい児者のスポーツ活動に取り組む道内 9 団体への助成事業に対し、総額 100 万円の支援を行います。

当行は今後も、北海道におけるスポーツの裾野拡大を目指し、北海道と連携・協力していくとともに、CSR を経営の重点課題と位置づけ、「地域社会への貢献」に引き続き取り組んでまいります。

記

<平成 29 年度「北洋銀行スポーツ応援事業」助成先一覧>

(五十音順)

	助成先	助成額	連携団体
「チャレンジクラブ地域版」 開催	<次の市町体育協会> 石狩市、喜茂別町、積丹町、知内町、苫前町 美瑛町、美唄市、美幌町、別海町、留萌市	100万円	公益財団法人北海道体育協会
障がい児者スポーツ 活動団体への助成	アシルスフィーダ北海道AFC、アダスポ実行委員会、 SILVERBACKS、十勝ユニバーサル水泳クラブ、 パラ・スポ in えべつ実行委員会、パラレルクラブ、 北海道小樽高等支援学校男子バスケットボール部、 北海道精神障害者スポーツサポーターズクラブ、 北海道フェンシング協会	100万円	公益財団法人 北海道障がい者スポーツ協会

以上

＜障がい児者スポーツ活動団体＞

助 成 先(五十音順)	活動種目・内容	授与式日時等
アシルスフィード北海道AFC	アンプティーサッカー※1	北海道庁 5階共用会議室 平成29年6月28日(水) 10時30分より
アシルスフィードとは、アシル=アイヌの言葉で“新しい” スフィード=イタリア語で“挑戦”を意味しています。今年是全国大会出場を目指すと同時に、PR活動と練習環境作りを行っていきます。		
アダスポ実行委員会	障がい者スポーツ全般	
アダプテッドスポーツ※2の体験を通して、誰もがスポーツを楽しむことが出来るよう、万人へのスポーツ文化の振興を目指しています。 平成29年7月1日(土)に「第3回アダスポ!岩見沢」を開催します。		
SILVERBACKS	ウィルチェアラグビー※3	
SILVERBACKSは札幌を拠点に活動するウィルチェアラグビーチームです。 今年はこのスポーツをしている方々と一緒に試合や交流会を行う大会を開催予定です。		
十勝ユニバーサル水泳クラブ	水 泳	
帯広を拠点に、定期練習会を行っているおり、メンバーの大会への出場・障がい者スポーツ指導員資格の取得を計画しています。		
パラ・スポ in えべつ実行委員会	障がい者スポーツ全般	
昨年10月に江別市にてパラ・スポ in Ebetsu(障がい者スポーツ体験会)を開催。 今年も、9月16日(土)に江別市民体育館にて「第2回パラ・スポ in Ebetsu 2017」を開催予定、10月28日(土)に江別市民会館にて福祉イベントを計画しています。		
パラレルクラブ	クロスカントリースキー	
旭川を拠点に、多くの選手を輩出しているクロスカントリーID(知的障がい)チームです。		
北海道小樽高等支援学校 男子バスケットボール部	バスケットボール	
全国障がい者スポーツ大会バスケットボール競技大会参加に向けて練習中。昨年からは北海道・東日本ブロック予選会に出場しています。		
北海道精神障害者スポーツサポーターズクラブ	フットサル	
精神障害者を対象としたスポーツ活動のほか、健常者と共に行うイベントも開催しています。 今年10月に愛媛県西条市にて行われる全国障がい者スポーツ大会にフットサルの北海道選抜チームを編成して派遣予定です。		
北海道フェンシング協会	フェンシング	
定期練習会の他、デモや体験会を実施。昨年は健常者大会と同時開催で「全道車いすフェンシング大会」を実施、「車いすフェンシング日本選手権」にも選手を派遣しました。 今年も、札幌で7月2日(日)に第2回全道車いすフェンシング大会を開催します。		

※1「アンプティーサッカー」～下肢に障がいを持つ選手がロフトランドクラッチと呼ばれる杖を使い脚一本でボール蹴り、上肢に障がいを持つ選手が片腕でゴールを守るサッカーです

※2「アダプテッドスポーツ」～障がい者・幼児・高齢者など誰もがスポーツを楽しむことができるよう、ルールや用具をスポーツ実践者の状態にadapt(適合)させたスポーツのことです。

※3「ウィルチェアラグビー」～ラグビー・バスケットボール・バレーボール・アイスホッケー等の要素が組合せられており、バスケットボールと同じ広さのコートで、専用の車いすを使用し、ボールをバスまたはひざの上に置かれてゴールまで運びます。

< スポーツ応援事業概略 >

北洋銀行スポーツ応援事業

概要

- 北海道**
- ◆ 北海道体育協会・北海道障がい者スポーツ協会との連携・協力
 - ◆ 助成先団体選考の情報提供
 - ◆ 交付式会場の提供
 - ◆ 当事業周知の協力



北 洋 銀 行

包括連携協定
(スポーツ応援連携)

応援

子どものスポーツ

(公財)北海道体育協会と協力

当協会主催事業への助成

スポーツ体験教室「チャレンジクラブ地域版」を実施

障がい児者スポーツ

(公財)北海道障がい者スポーツ協会と協力

当協会内審査会で助成先を決定

障がい児者スポーツ活動団体を支援

本 件 に 関 す る お 問 い 合 わ せ

北海道環境生活部文化・スポーツ局スポーツ振興課

鈴木 TEL:011-204-5209

北洋銀行経営企画部広報室

太田 TEL:011-261-1317

北海道環境生活部文化・スポーツ局オリンピック・パラリンピック連携室

井上 TEL:011-204-5254

北洋銀行経営企画部 CSR 推進室

鳥井 TEL:011-261-1151